

コロナ5類移行5月8日

政府方針、きょう正式決定

政府は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の位置付けを五月八日に季節性インフルエンザと同じ「五類」に引き下げる方針を固めた。今月二十七日に政府対策本部を開いて正式に決める。岸田文雄首相が二十六日、官邸で関係閣僚と協議し最終調整した。政府関係者が同日、明らかにした。

五類移行後の医療費は、期限を区切って公費負担を当面継続する。急激な個人負担増にならないよう配慮する。公費支援と医療体制の方向性について、三月上旬をめどに具体的な方針を示す。マスク着用は屋内外を問わず個人の判断に委ねる。

五月八日とする理由については政府関係者は「大型連休が終わわり、人の往来が落ち替への見越した」と説明した。対策本部に先立ち、二十七日午前には厚生労働省の感染症部会が開かれ、五類移行について専門家としての議論を取りまとめる。移行に伴い見直される医療体制や感染対策などの措置にも一定の方向性を示す可能性がある。

政府は二十七日午後八時、新型コロナウイルス対策分科会と基本的外方分科会を合同開催して検討状況を報告。対策本部は夕方開かれる。五類への移行に関し岸田首相は、二十六日の衆参両院代表質問で「医療体制や公費支援などの措置について、医療現場の混乱を回避する」と述べた。

県警報 来月末まで延長

無料抗原検査の期間も

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、県は今月末までとしていた県独自の「感染拡大警報」を、五月二十八日まで延長する。無料抗原検査の期間も同日まで延長。病床使用率が警報レベルの水増しで高止まりしているため、体調不良の場合には登校や出勤を控え、会話は控え、マスク着用や定期的な換気など、基本的な感染対策を徹底するよう呼びかけている。杉本洋治知事が二十六日の定例会見で発表し、

五月八日とする理由について政府関係者は「大型連休が終わわり、人の往来が落ち替への見越した」と説明した。対策本部に先立ち、二十七日午前には厚生労働省の感染症部会が開かれ、五類移行について専門家としての議論を取りまとめる。移行に伴い見直される医療体制や感染対策などの措置にも一定の方向性を示す可能性がある。

政府は二十七日午後八時、新型コロナウイルス対策分科会と基本的外方分科会を合同開催して検討状況を報告。対策本部は夕方開かれる。五類への移行に関し岸田首相は、二十六日の衆参両院代表質問で「医療体制や公費支援などの措置について、医療現場の混乱を回避する」と述べた。

総人数	191688	473
直近1週間	3510(-164)	
人口10万人当たり	457.0(-21.3)	
死亡	180(0)	
重症	2(+1)	
中等症II	1(0)	
軽症ほか	166(-3)	
宿泊療養施設	74(-2)	
県外入院療養	0(0)	
病床利用率	33.6%	
ICU利用率	8.3%	

県内の新型コロナウイルス感染状況(26日)

※カッコ内は前日からの増減。単位は人
 ※現在の病床数は503。利用率には県外で感染確認された人を含む

県内新規感染者473人
 県は二十八日、新たに四百七十三人が新型コロナウイルスに感染したと発表し、一日当たりの新規感染者は前週の木曜日と比べて百六十四人少ない。

新規感染者数が前週を下回るのは九日連続。感染者一人から平均何人にうつすかを示す「実効再生産数」は十三日連続で一・〇以下となり、県の担当者は感染状況について「年末年始のピークを過ぎて減少傾向に入っている」とみる。

医療機関からの報告は四百二十八人。このうち、重症化リスクがあるとして発生届が出された患者は百人

国内の新型コロナウイルス感染者 [26日午後7時現在]

国内での確認 3231万9883人(+6万0120) [3万7037]

北海道	1302244(+1683)	267297(+433)	4674	山梨	469619(+1133)	763
青森	278624(+371)	191688(+473)	169	長野	769682(+1706)	1228
岩手	224046(+400)	181055(+573)	236	新潟	295577(+789)	621
宮城	513161(+964)	433610(+1183)	287	富山	158115(+417)	359
秋田	192840(+264)	512659(+1259)	101	石川	240075(+711)	164
山形	217125(+342)	822571(+2747)	248	福井	299140(+602)	103
福島	384576(+826)	2039967(+3847)	3348	滋賀	158069(+375)	133
茨城	610501(+2089)	435867(+1597)	919	京都	1535022(+2432)	2507
栃木	401435(+1011)	358255(+746)	407	大阪	252627(+429)	233
群馬	422568(+1029)	653058(+1007)	1508	奈良	323980(+536)	166
埼玉	1748112(+2614)	2752911(+4012)	2936	和歌山	517588(+887)	1176
千葉	1417169(+2832)	1416883(+2816)	6376	徳島	290178(+642)	1372
東京	4248890(+5081)	328949(+779)	767	高松	309367(+645)	113
神奈川	2153942(+3729)	227279(+554)	474	愛媛	424044(+827)	332
新潟	436089(+721)	133214(+383)	234	高知	588882(+403)	166
富山	225090(+542)	158094(+346)	232			

重症者 585人 [26日午前0時現在、厚生労働省による] [1万2222万0599人(+6万0120)]

()内は前日からの増加。国内の数字は死者

空港検疫などの感染者数は、都道府県発表分に含まれるようになった。国内での確認、合計には2022年9月29日までの空港検疫などの感染者数が含まれる。合計にはダイヤモンド・プリンセスの感染者を含む

県は「感染拡大警報」を、五月二十八日まで延長する。無料抗原検査の期間も同日まで延長。病床使用率が警報レベルの水増しで高止まりしているため、体調不良の場合には登校や出勤を控え、会話は控え、マスク着用や定期的な換気など、基本的な感染対策を徹底するよう呼びかけている。杉本洋治知事が二十六日の定例会見で発表し、

「感染拡大警報」を、五月二十八日まで延長する。無料抗原検査の期間も同日まで延長。病床使用率が警報レベルの水増しで高止まりしているため、体調不良の場合には登校や出勤を控え、会話は控え、マスク着用や定期的な換気など、基本的な感染対策を徹底するよう呼びかけている。杉本洋治知事が二十六日の定例会見で発表し、

「感染拡大警報」を、五月二十八日まで延長する。無料抗原検査の期間も同日まで延長。病床使用率が警報レベルの水増しで高止まりしているため、体調不良の場合には登校や出勤を控え、会話は控え、マスク着用や定期的な換気など、基本的な感染対策を徹底するよう呼びかけている。杉本洋治知事が二十六日の定例会見で発表し、